

第6回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会

参加申し込みチーム・企業 御中

2020年8月17日

一般社団法人日本実業団陸上競技連合

(公印省略)

現地での応援自粛のお願い

ひごろ、実業団陸上の振興にご尽力いただき、感謝申し上げます。

第6回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会を、10月18日(日)、福岡県宗像市・福津市のコースにて実施いたします。

ご承知の通り、今般、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、日本のみならず国際社会が、感染拡大防止のための対策に全力を挙げております。

公道を使用する駅伝競走大会の場合、競技場内で行うトラック&フィールドの競技会のように「無観客大会」にして感染拡大を防止することができません。

「無観客」に限りなく近い状態をつくり出すためには、スタート・フィニッシュ地点、並びにコース沿道での応援・観戦を自粛していただくしか、取りうる方策はありません。

残念ではありますが、開催地の宗像市、福津市でも、市民の皆さまに、沿道に出での応援を自粛いただくよう呼びかけます。

現地で応援しないことが、一番チームのためになる応援――

前例のない新型コロナウイルスの流行下で、社会経済活動の一環でもあるスポーツ活動、しかも交通規制を敷いた中で公道をお借りして開催する駅伝競走大会を、安全に実施するためには、出場企業の皆さまに現地での応援を控えていただき、沿道の地域住民の皆さまにも応援を控えていただくことを、主催者としてお願いしなければなりません。

高齢化社会を迎えた日本では、大都市圏でも高齢化が進んでおり、地域差は事実なくなっております。今回の新型コロナウイルス感染症の特徴として、若い世代では無症状や軽症にとどまる一方で、高齢者や基礎疾患のある方たちが感染すると重篤化する傾向が指摘されております。

そのため、全国各地から応援者も含めて多くのチームが集まる全国規模の大会開催は、同時に、感染拡大のきっかけにもなりかねないものとして、地域住民の皆さまは不安と恐怖をいただいております。

住民の皆さまの不安と恐怖を少しでも軽減し、選手たちが日頃の精進と鍛錬の成果を発揮する場となる駅伝競走大会を両立させるために、改めて、出場企業

の皆さまにお願いいたします。

現地での応援を控えてください。個人の資格名目でも現地には来ないでください。

皆さまが現地に来られないことを前提として、これまでは用意していた応援者用の駐車場を今回は用意いたしません。ご承知おきください。

現地での応援を控えていただくことにご協力いただくため、

チームの参加申し込みと同時に、「応援自粛協力の同意書」を提出いただきます。提出がない場合はエントリーそのものを受け付けません。

お願いベースであるべき「応援自粛」に「同意書」の提出を求められることに違和感を持たれる方もいらっしゃるかと存じます。それだけ、地域の皆さまの大会開催に伴う感染症への不安、恐怖は強い——ということです。

地域の皆さまのご理解とご協力なくして、交通規制が伴う公道を使った駅伝競走大会の実施は不可能です。

駅伝大会のコース沿道に大勢の観客が詰めかけ、そこから感染症のクラスターが発生した場面を想像してみてください。しかも、複数のクラスター集団の発生を。もしかしたら、そのクラスターから重症者が出るかもしれない——という

ことを。

それなら、駅伝大会を実施しなければいいではないか――。

そういう声も当然出てきます。それでも、安全・安心に大会が実施できる努力を周囲がすれば防げることです。繰り返し、お願いします。

現地で応援しないことが、チームにとって最大の応援に、ひいては今後の他の駅伝競技の応援になることを。

「同意書」が提出されながら、大会当日、現地での応援が確認された場合、当該チームにペナルティーを科す場合もあります。ご承知おきください。市民の皆さまなどから、現地での応援行為などが写真等で情報提供された場合、大会事務局で事実関係を確認させていただきます。出場企業の関係者による現地応援にあたり確認できた場合、チームに以下のペナルティーを科す場合があります。

■■■翌年度の予選会へのエントリーを受け付けない

■■■クイーンズ駅伝で8位入賞しても「クイーンズ8」としてのシード権を喪失し、翌年度の予選会へのエントリーも受け付けない

お問い合わせは、日本実業団陸上競技連合事務局（事務局長 阿相）

電話 03・6268・0218（平日11時～17時）